

田上町 議会だより

第81号

■平成21年7月24日 発行



▲第30回記念 あじさいまつり

4月・5月臨時会	2P
付託案件審査報告・請願・陳情・意見案・決議案	3～4P
6月定例会	5P
一般質問	6～11P
付託案件審査報告	12～13P
常任委員会の活動・一部事務組合報告	14～15P
議員の活動あれこれ／編集後記	16P

常任委員会付託案件審査

総務 産 経

第2回臨時会

- ◆議第1号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第1号)

プレミアム商品券発行业事に600万円を補助するもの。

参考人として田上町商工会(高野商業部会長、鈴木事務局長)より出席を求めて質疑。

千円券を11枚で1セットにして1万円で販売(総額5千500万円)

町内消費拡大により事業者救済を目的とする。

各取扱店でプライベートサーブに努力する。

商工会は営利団体ではなく事業に対する補助金である。

第3回臨時会

専決処分

- ◆議第4号 平成20年度一般会計補正予算(第9号)

歳入は確定による補正と事業の確定による補正。

歳出の内

- 第2款総務費
- 第7款商工費
- 第11款公債費

いずれも実績による係数整理。

●第2表繰越明許費(2款)は定額給付金事業と子育て応援特別手当交付金事業が継続中の為。

※いずれも承認

- ◆議第9号 幼児園建設建築本体工事請負契約

- ◆議第10号 幼児園建設電気設備工事請負契約

- ◆議第11号 幼児園建設機械設備工事請負契約

- ◆議第12号 幼児園建設外構工事請負契約

いずれの契約入札額も5千万円超により議会議決を要する。

※4議案とも原案可決

第4回臨時会

- ◆議第1号 田上町職員の給与に関する条例の一部改正

- ◆議第2号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

- ◆議第3号 田上町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

- ◆議第4号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告の拙速な対応に問題がある。

田上町の民間給与ベースに流されてはならない。

現行の経済動向からみれば当然である。

人勧の完全実施は基本である。

※いずれも原案可決

社会 文教

第3回臨時会

専決処分

- ◆議第1号 田上町税条例の一部改正

地方税法の改正により当町も一部を改正するもの。

個人の町民税の特別徴収に關係するもので対象者は100名位との事。

- ◆議第2号 田上町税条例の一部を改正する条例の一部改正

配当所得にかかる特例が3年間延長されるもの。

- ◆議第3号 田上町国民健康保険税条例の一部改正

所得の低い層を対象にしたもので196世帯が対象となる。

- ◆議第4号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第9号)

歳出の内

- 第3款 民生費
- 子育て応援特別手当交付金の増額等

〈次ページへ〉

第4款 衛生費

国保会計への繰出し金、医療費助成等実績による減額等が主なもの。

◆議第5号 田上町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

歳入では保険者の減による歳入不足、額の確定によるもの。歳出では高額療養費の増等である。

◆議第6号 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第2号)

交付額の決定によるもの。

◆議第7号 同年度田上町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入で決定額の減、歳出では事業費額の確定によるもの。

◆議第8号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入では、不用額、歳出では実績による数字の減である。

※いずれも承認

4月臨時会

議員発議による意見案

意見案番号	件名	提出議員	議決結果	意見書提出先
意見案第5号	羽生田地内における薬物依存者更生施設の開所中止を緊急に求める意見書	池井豊 児玉輝男	原案可決	町長

請願

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書提出先
請願第5号	薬物依存者更生事業を国・行政が率先して行うことを求める請願	田上町大字羽生田丙547 羽生田総区長 樋口信司	採択	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 法務大臣 厚生労働大臣

6月定例会

議員発議による決議案

決議案番号	件名	提出議員	議決結果
決議案第1号	核兵器廃絶・平和宣言に関する決議について	関根一義 小野澤健吉 吉田昭一 児玉輝男 川口與志郎	原案可決

陳情

番号	件名	陳情者
陳情第1号	最低賃金引き上げと中小企業対策の拡充を求める陳情	長岡市関東町4-15 中越地区労働組合総連合 議長 馬場哲二
陳情第2号	町特別職給与引き上げについての意見書	田上町上野 品田政敏

6月定例会

《会期 6月22日～6月26日》

一般会計補正予算総額48億6038万8千円採決



▲6月定例会

6月23日(2日目)
本会議(一般質問)終了後全
員協議会が開催され、一般会計
補正予算の地域活性化・経済
危機対策臨時交付金(単年度
事業)・公共投資臨時交付金・
国庫補助金事業案等の説明・
協議を行う。

定例会会期5日間が決定、町
長より12議案が上程・提案説明
・質疑が行われた後、各常任委
員会に審査付託された。
一般質問は6名の議員から、2
日間にわたり熱の入った質問が
行われた。

6月22日(初日)
本会議

定例会最終日は各常任委員
長より付託案件の審査報告が
行われ各議案が採決された。
各常任委員会・議会運営委
員会委員長から閉会中の継続
調査申出を議決し閉会とした。

6月26日(最終日)
本会議

(詳細12～13ページ参照)

6月25日
社会文教常任委員会審査

6月24日
総務産経常任委員会審査

《主たる事業の協議》
武道場建設計画
教育用パソコン購入
竹の友幼児園バス等購入事業で
熱の入った協議が行われた。

地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用して
武道場建設計画・教育用パソコン購入



池井 豊議員

町長 羽生田地域に予定されている薬物依存者の更生施設に対して、地域の住民が不安に思っていることは理解できます。この条例を盾に正面切って行政が反対の立場をとるといふのはいささか乱暴な解釈かと思えます。まちづくり条例による措置ではなく、地域の皆さんと連携して

町長 農業はお金がかかります。農業を「お金を得る」という評価軸で見ただけでなく、それを「楽しみ」「健康づくり」「生涯学習」「仲間づくり」と言う、評価軸に当てはめたらどうでしょう？
二つ目は若者・よそ者との交



▲羽生田小学校運動会

教育長 総合型地域スポーツを1つの中心に据えまして、スポーツのあり方、あるいは施設等のあり方等を含めて活用等促すような仕組みづくりをと、取り組んでおるところでございます。

町長 先日、体育協会の総会があり、町内の体育施設の問題点が報告されました。これから田上町の体育施設をどのように維持管理・運用・建設していくのかビジョンをお示し下さい。

町内の体育施設について



川口 與志郎議員

全国一斉学力テストについて

問 全国学力・学習状況調査に参加しないでほしい。

この調査は、文科省が主催し、小学校6年、中学校3年生の全国の児童・生徒に対して実施されています。

これに類した学力調査は四十年以上も前にも実施され「過度の競争や序列化」が起り中止されたものが復活したものであります。

文科省は今回その弊害を避けるために、市町村別の結果を公表しないようにという通達を出しています。

各市町村の教育委員会は、そのことには賛成しておりますし田上町の教育委員会もその通りしております。

ところが一部の府や県では知

事がそのことに反対し、市町村別の結果の公表を迫り、市町村の教育委員会と対立し、混乱が起っています。

この調査は他の方法でも出来るということですので、田上町は参加しないことにしたらよいと思いますがいかがでしょうか。

教育長 皆様方からは、学力調査等の結果について公開しろとか、そういうお話を直接には伺っておりません。公表によって目的が損なわれるという懸念があるのであれば、公表について慎重にやつていかなければならないと思います。

ミニマムアクセス米の矛盾について

問 外国からの米の輸入をやめて欲しい。

町としてできる限りさまざまな方策で対応していきたいと考えております。

新しい農業の仕組みづくりについて

問 まちづくりチャレンジファームと言うまちづくりの観点から農業に素人のメンバーが挑戦し、参加者が、そして地域がどう変わっていくか検証していく活動をしています。

今までの活動で分かってくれたことが二つあります。

一つ目は若者・よそ者との交

見解はいかがでしょうか。

町長 外国米輸入の矛盾は川口議員の言われるとおりだと思っております。

なお、この件につきましては一年前6月議会で意見書が出されておりますし、農業委員会でも意見をとりまとめております。全国の農業組織を挙げてこの抜本の見直しを政府、国会に対して強く要請しているところでもあります。



▲護摩堂山に咲いているひめさゆり



渡邊正策議員



齋藤勲議員

一般質問

シルバー人材センターの設立を

問 シルバー人材センターは4月から社会福祉協議会が行う「紹介のみ」ということになりました。

高齢者にとって年金の目減りなど、生活費の補てんの意味合いからも、シルバー人材センターを設立できませんか。

また単独で無理であれば広域で対応できませんか。

町長 仕事量から採算面を考えると無理で、民間に委ねたいと考えます。県への問い合わせや広域については考えてみます。

フッ素洗口・塗布の中止を

問 平成22年度から小中学生にフッ素洗口を実施する計画です。次の理由で中止・見直しすべきだと思います。

①なぜ子供たちに虫歯が多いのかの分析が明確でなく、生活習慣も精査すべきです。

②お茶には天然のフッ素が含まれており、カテキンは抗菌力があります。食後のブラッシングと食育を並行すべきです。

③フッ素は工業用のフッ化ナトリウムという劇物で、現場の管理負担が増えます。

④'94年のWHOのレポートは6歳児未満の子供はフッ素洗口を禁止しています。

魅力のある中学校づくりは?

町長 町内歯科医から5歳児からフッ素洗口を進められました。ブラッシングは保育園、幼稚園、小中学校で指導しています。WHOのレポートは水道水にフッ素を入れた場合を想定したものと理解します。フッ素の管理は今後関係者と協議します。

問 今年の中学1年生は昨年より1クラス減の3クラスとなりました。水泳部が新人の募集がないなど影響は大きいものがあります。

魅力ある中学校づくりについて 聞き取ります。

地域活性化・経済危機対策臨時交付金の使途について

この臨時交付金1億1千500万円は単年度事業であり、田上町1万3千人の生残りをかけた事業に集中投資ができる絶好のチャンスです。集中投資で得た生産資金は、「少子化減少」事業(仮)に再投資する事を提案しました。

問 《固定的経費削減に投資》町が支払う電気料は上表のとおり、年間約5千万円を超えています。電気料の削減方法は多々ありますが、省エネシステムの導入に集中投資し、電気料削減を図り、削減費用を少子化対策費に充当する考えはありませんか、伺います。

町長 交付金活用事業は基本的に今年度中の事業で、計画書提出が6月23日と第2回目は秋頃の提出です。限られた財源や実施期間等の条件を満たす為、今まで財源不足で先送りしてきた事業を最優先に考えています。省エネシステム導入は難しい状況ですが今後大いに検討し、一般財源を削減できる一つのいい方法であると思っています。

田上町少子人口状況
平成21年4月1日現在

年令(歳)	人口(人)
0	72
1	89
2	75
3	84
4	83
5	97
6	111
7	130
8	96
9	130
10	126
11	115
12	130
13	132
14	142
計	1,612
対総人口比	12.3%
総人口	13,138人

問 《太陽光発電システム導入で電気料の削減を》

町長 国の重要課題、地球温暖化対策の一端を田上町も担い、特に電気料消費の多い湯つ多里館・役場・小中学校・等へ太陽光発電システム導入を集中的に実施し、電気料削減に取り組む、且つ低炭素化社会に貢献する事で地域活性化も図られます。削減資金は田上町が抱える最大のテーマ「少子減少対策」費用として再投資する事を提案します。町長の考えを伺います。

町長 地球温暖化対策は国の重要課題であり恐らく急ピッチで進むと思っています。提案は十

教育長 平成11年の学校教育法が変わり、教育の場にも競争原理が入り、入りたい学校づくりが求められています。

現在保育所長、幼稚園長、小中学校の教頭先生による「ワーキンググループ」を立ち上げました。様々な角度から検討し12年教育、魅力ある中学校にしたいと考えています。



▲12年教育の到達点としたい田上中学校



▲新潟国体炬火採火イベント(7月5日あじさいまつりにて)



小野澤健吉議員

日赤社員の表彰制度について

問 特別賛助会員で千円以上の額があつて、累計額が1万円となった時点で表彰するところがあるが、町ではやってこないと思うが今後どうするのか。

町長 表彰は日赤新潟県支部が独自で実施して来た制度で、表彰されると町を経由して個人に伝達される。平成17年度には14名が表彰されました。

町は毎年県支部に報告している、該当者となった場合は感謝状が町に送られて来るが、この感謝状制度は来る23年度より廃止されることとなる。

国民参加の裁判員制度について

問 五年ほど前に国会を通過した法案によるものだが、去る5月21日より実施となった。

世論調査では、反対22%、どちらかと云えば反対44%で計66%の反対者がある制度である。法律の知識を持ちえない私は反対であるが、町長はどう考えますか。

町内で何名位が選定されるのか、役場職員が選定されたら勤務の取扱いはどうするか、一般町民から相談を受けたらどう対応するのか。

町長 国民が裁判に参加することによって、司法に対する理解の深まりを期待されているが、専

一人暮らし老人の生活対応について

門的な知識を持っていないと難しいと思うし、定着するまで相当時間を要すると考える、どちらかと云えばあまり賛成出来ない。昨年、町に割り当てられた裁判員候補者は17名でした。職員が選定された場合は規則により必要と認められた時間を特別休暇扱いとする。一般の会社員は会社あるいは個人の考え方による。

位か、その生活指導はどうなっているか。虐待を受けている実態はどうか。幼児園が開園すると保育所が空となるが一部を改修して安価で入所出来る老人の集合住宅として対応出来るか。

町長 当町の65歳以上の高齢化率は24.3%で全国水準を上回っている。現在298世帯、毎年春に実態調査を実施して調査内容により、看護師、保健師の継続訪問で指導をしている。民生委員による友愛訪問もある、配食サービスを通して安否の確認もしている。虐待は数件の報告を受けたが今は落ちついている。

保育所の跡地利用とともに老人の集合住宅の必要性とか緊急性、財源等も含め検討して参りたい。



一般質問

幼稚園教諭・保育士の業務改善について

針は非常に評価している。現場が忙しすぎた事を理由に、机上の空論で終わらせてはいけない。事務処理の軽減についてと幼児教育の今後の展望を伺う。

町長 事務処理が多大なものだと思ふ。少しでも軽減するための専用のソフトの導入は、確かにデータの長期保存や事務処理の効率化を考えれば理想的だと思ふ。今後、調査を行いまして、検討していきたい。幼児教育関係につきましても、ワーキンググループで検討中です。

田上町消防団について

問 以前にも議会で消防団の増員について質疑があり、検討中の「消防団OB会」「女性消防団」について、今現在、どの程度の見通しであるのか伺いたい。

女性も消防や救急の知識を持ち、消防署と地域との連携を担い、男性消防団の後方支援や広報活動の面で貢献出来るのではないかを期待する。

据え置いてきた消防団員の報酬についても、そろそろ検討段階ではないか。今回の地域活性化・経済危機対策臨時交付金で不足の消防設備などの再確認・整備もお願いしたい。

町長 女性消防団・機能別消防団等、議員ご指摘のように、男性消防団とは別の活動となることから、その結成が団員不足の解消には直結しない。団本部の大方な見方として、消防署の体制が整わないのと、消防活動が男だけの世界に対応した設備とか環境であるので、慎重な意見が多い。

OB会は自主防災組織の結成にあたり、積極的な協力を要請している。

報酬見直しは調査検討委員会にて、近隣の市町村や県内の田上と同等の町村の報酬額などを参考に検討していきまして、できることなら来年度の予算に反映したい。

経済危機対策臨時交付金の対象には、サイレン塔の設置あるいは消防用ポンプ積載車の入れかえなど、臨時交付金事業にリニアアップしました。事業枠に余裕があれば交付金事業となります。



中野和美議員

今まで保育所は小学校へ子供の成長や配慮についての伝達義務は強制では無かったが、新しい保育指針では必要になるので、対応した専用ソフトの活用をお願いしたい。

田上町の子供達を12ヶ年計画で見守り育てていくという方



▲田上町消防演習

総務 産 経

《専決処分》

- ◆議第1号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第2号)の報告について

※ 承認

《条例改正》

- ◆議第2号 田上町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ◆議第3号 田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ◆議第4号 田上町職員の給与に関する条例の一部改正について

こま

昨年7月に出された人事院勧告の勤務時間の短縮について人勧を準拠することから実施。



▲新体制の総務産経常任委員会

《補正予算》

- ◆議第7号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第3号)議定について

- 第1表 歳入
- 第1表 歳出の内

- 1款 議会費
- 2款 総務費(1項)
- 5款 労働費
- 6款 農林水産業費
- 7款 商工費
- 8款 土木費

経済危機対策臨時交付金他で国庫支出金6千481万7千円、県支出金1千307万円、繰越金456万9千円の総額8千245万6千円を補正。

各款とも人事異動による給与と手当等の増減が主なもの。労働費は緊急雇用創出事業と雇用再生事業等で1千236万6千円の補正。

- ◆議第8号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第1号)議定について
- 人事異動による96万1千円の減額補正。

- ◆議第12号 県央広域市町村圏協議会の廃止について
- 協議会の決定に基づいて7月1日限りで廃止するもの。

※ いずれも原案可決

委員長 泉田 壽一

社会 文 教

《専決処分》

- ◆議第1号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第2号)の報告について

この専決処分は康養園の空調設備が故障したため、修繕費193万2千円を止むなく専決したものの。

※ 承認

《条例改正》

- ◆議第5号 田上町国民健康保険条例の一部改正について
- この条例の一部改正は、国保会計の給付準備基金が極度に減少したため条例の改正によって正常化を図るもの。
- ◆議第6号 田上町乳児・子ども医療費助成に関する条例の一部改正について。

この改正案は県要綱の変更に伴い、通院の補助を小学校3年まで引き上げたもの。

※ いずれも原案可決

《補正予算》

- ◆議第7号 平成21年度一般会計補正予算(第3号)について

第1表歳出の内

- 2款 総務費(2項、3項)

新しい職員が正式に配属されたことによる人件費。

- 3款 民生費

国の交付金、地域活性化対策費でバス2台とバン1台を購入するためなどに充てるため。

- 4款 衛生費

人事異動による補正。

- 10款 教育費

国の地域活性化対策費を利用して小学校にパソコンや電子黒板の導入、武道場の実施設計費、小中学校に理科教育設備補助金を利用して教材備品の購入に充てるなど。

- ◆議第9号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

委員長 齋藤 勲

※ いずれも原案可決



▲竹の友幼稚園の安全祈願祭



常任委員会の活動
所管事務調査

総務産経常任委員会

期日 平成21年4月14日

総務課

●ふるさと納税について

5千円以上の人に2千円程度の御礼をさしあげている。田上町は3月末現在で216万円になっている。

地域整備課

●上水道大沢水系の硬度問題について

給湯器やボイラーに結晶が付着して機器を損傷している。硬度の高い水は飲むと大変美味しいが熱が加わると凝固するのが欠点であるが、大沢水系の硬度140を改良するには、羽生田水系（硬度70）と企業団用水（硬度20）とブレンドする事で解決を図りたい。

上水道改良工事計画概算経費

は全体で6億5千万円程、工事期間は4カ年を要する見込みであり、原水槽（28㎡）が2槽、配水池槽（835.2㎡）が2槽、高架水槽（90㎡）が2槽の計6槽を建設と共に連結配管工事等です。

大沢水系の問題は喫緊の課題で、早期着工が不可欠である。

期日 平成21年4月14日

産業振興課

●指定管理者制度の実施状況について

●湯つ多里館の補修工事等について

You・遊・ランドの管理に関しては頑張りすぎて続かなくなるこゝとが心配だ。椿寿荘に関しては町の文化財としての位置付けをどの様に対応していくのか問題がある。

委員長 泉田 壽一

社会文教常任委員会

期日 平成21年5月25日

●各課の新年度の方針を質した。

町民課

4月より県の指導により三条地域特別機動整理班を三条市、燕市、弥彦村、田上町で構成した。目的は、税の滞納の解消を目指すし、今までも機動性のある対応が期待できる。

保健福祉課

①保育所の最終的な入園者数が明らかになった。5ヶ所の保育所の定員は260名で入園者は149名との説明。（竹の幼稚園は定員200名で入園者は67名とのこと。）

②新型インフルの対策の報告があった。保健師などでチームを組んで対応したとのこと。

三条地域応急診療所の利用回数について、4月は田上町は28件と説明。

一部事務組合議会報告

加茂市田上町消防衛生組合

期日 平成21年3月27日

場所 加茂市役所

平成21年度加茂市・田上町

●消防衛生組合一般会計予算審議を行い採択した。

概要

平成21年度当初予算

総額 8億9千185万5千円

《歳出予算》

議会費・総務費 1千440万円
衛生費 3億9千171万7千円
消防費 4億7千61万4千円
（本署費）

4億6千668万9千円

（田上出張所管理運営費）

392万5千円

その他 1千512万4千円

《財源》

分担金・負担金 8億6千808万2千円
（加茂市5億8千435万6千円）
（田上町2億8千372万6千円）

庁内の禁煙活動が評価され、町へ587万1千円が交付されること。

教育委員会

①今年度は平成19年から進めてきた3年間の最終年度であるが、新学習指導要領があるので7項目補強した。

②幼保・小学校の二層の強化を図るために2組に分けて話し合いをした。

③幼稚園の開園に向けて竹の幼稚園の教師と保育園の保育士が2組に分けて意見交換を実施。

④いじめ、不登校を最重要課題として取り組みたい。

⑤修学旅行で小学生は会津若松市へ、中学生は4月に関西に行った。

⑥中等教育学校について。などの説明と質疑を交わした。

委員長 齋藤 勲

使用料及び手数料

1千378万1千円

繰越金その他

999万2千円

《時借入金》

最高額を5千万円に定める。

組合議会議員

熊倉 良平
齋藤 勲
関根 一義
渡邊 正策

議員3名が功労者表彰



泉田壽一議員 熊倉良平議員 齋藤勲議員

新潟県町村議会議長会から在職10年以上勤められたこと、このほど表彰状が伝達されました。



▲消防団の定期演習

議員の活動あれこれ

3月から6月にかけて、議員は議会の外の諸活動が忙しくなります。

入所式、入園式、卒園式、卒業式、入学式や、そして、それぞれのところで運動会などの行事に手分けをして参加します。そこで私たちは子供たちのいろんな姿や表情を見ることができます。保護者の嬉しそうな様子も見られます。ここでは感動的場面を多く見ることができます。

その他、護摩堂山開きなど、町の行事も沢山参加します。



▲あじさいまつりチームエコに参加



▲テープカット



▲開園式での議長あいさつ



▲新広報委員の顔ぶれ

お知らせ

9月定例会初日の予定
9月11日(金)



▲竹の友入園式



▲幼稚園安全祈願祭

編集後記

護摩堂山の紫陽花も天の恵みの雨を含み色鮮やかに咲きほつております。夜は五社川の蛍が飛び交い程好い自然に恵まれた田上町に誇りを感じます。

この度は、議員の所属常任委員会が一新されました。私も再度広報委員会に帰属致しました。長年の念願でありました幼児園建設も実現し、来年3月には完成を見るに至りました。

更に武道場建設、学校コンプレキスター整備と明るい兆しが見えて参りました。

「田上の子供は田上で育てよう」良い子を育てる為に良い環境作りが議会に与えられた責務だと思えます。

皆さんに喜んで見ていただける『議会だより』を目指して頑張ります。

(塚野 記)

- 委員長 渡邊 正策
- 副委員長 中野 和美
- 委員 塚野 一三
- 委員 齋藤 勲
- 委員 泉田 壽一
- 委員 川口 與志郎